



理事長

山下 俊彦

ごあいさつ

皆さまには、平素より新潟県信用組合(略称:けんしん)をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

皆さまから当組合に対するご理解を一層深めていただきますよう、ディスクロージャー誌「けんしんの現況2010」を作成いたしました。経営方針や最近の財務状況、業績などをできるだけわかりやすくご説明させていただくことを心がけましたので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成21年度におけるわが国の経済は、世界的な景気減速の影響を受けて悪化していましたが、景気刺激策等の効果もあり、全体として緩やかに持ち直しの動きが見られるようになりました。

このような環境の下、当組合は「第14次中期経営計画(21~22年度)」に基づき、県内一円に業務を展開する「広域型信用組合」という特質を生かし、「店質に特化した営業戦略」を積極的に推進してまいりました。また、お客さまの多様化するオーダーにお応えするため、新たな金融商品・サービスの提供とともに、お客さまからのご要望・ご相談等にも積極的に対応を行ってまいりました。

特に環境保護への取組みについては、プレミアム金利付定期預金「緑百年物語」の取り扱いを通じ、県の緑化事業に協力を行うとともに、環境配慮型設備を設置したエコ住宅や「住宅エコポイント」対象住宅への住宅ローンの金利引下げ、「緑・エコカーローン」の取り扱いなどを積極的に推進してまいりました。

本年度は、第14次中期経営計画の最終年度であり、本業を通じて安定した収益を確保するために、昨年度から取組み続けている貸出金増強のための様々な施策をさらに徹底するとともに、中小企業者等に対する金融円滑化への対応などを積極的に行い、この計画をより充実したかたちで達成すべく全力を尽くしてまいります。

“地元を見つめ、地元とともに”60年を刻んだ当組合が、今後さらに皆さまから親しまれ信頼される金融機関としてお役に立てますよう、役職員一同全力をあげて邁進する所存でございます。

今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成22年7月